

令和5年度 第3回 豊田市足助地域会議 議事録

開催日時	令和5年6月19日(月)	開会	閉会
		18時30分	20時00分
会場	足助支所 2階 第2、3会議室		
出席者	委員15名出席		
	足助支所 支所長 青木、副主幹 深田、担当長 鷓井、主査 花園		
欠席者	2名		
傍聴者	0名		
内容	1 開会 ・市民の誓い唱和 ・会長あいさつ 2 報告事項 各分科会について 3 グループワーク 地域カルテ、人口データ等から見える足助の課題 4 連絡事項 次回の会議等について確認		

■ 議事 (要約)

2 報告事項

各分科会の活動状況を分科会代表より説明

【まるふく会議（高齢者等課題検討分科会）】

- ・足助「まるっと」ささえあいの会開催について確認した。

昨年の地域包括ケア企画課からの諮問に対し、足助地域会議からの答申で示した「地域住民の声」を拾い上げていく仕組みの構築を目指して、足助地域包括支援センターと社会福祉協議会足助支所を中心に既存の「ささえあいネット」の仕組みプラスアルファ（子ども、障がい者等）の視点で店舗や事業者の方たちに見守り意識を持ってもらう。

開催日：令和5年6月23日（金）

会場：足助病院南棟講義室1

- 内容：①足助「まるっと」ささえあいの会について
 ②各相談機関の役割と相談事例（包括、社協、地域保健課）
 ③参加者同士（ささえあいネットワーク会員、民生委員等25名）で意見交換会

【新規課題事業検討分科会】

- ・5月25日（木）に陣屋跡地裏山の危険木（ケヤキ等枯木）の伐採を行った。
- ・6月18日（日）足助マルシェ開催予定（9時～正午）陣屋跡地利用するため、出展者等に陣屋跡地を利用する上で何があると良いか等をインタビューする。

【防災課題検討分科会】

- ・ 4月区長会において防災訓練・避難訓練モデル事業募集依頼（3自治会より応募ある）
- ・ 防災訓練・避難訓練モデル事業のスケジュール確認をし、事業内容等について意見交換した。

3 グループワーク

先月に引き続き下記のテーマについて、3班に分かれてグループディスカッションを行った。

【テーマ】：地域カルテ、人口データ等から見える足助の課題

- ◆先月配布した「地域カルテ」、「人口データ」や「おいでん・さんそんプラン」に示された山村地域の課題を見て、地域会議委員として感じる足助の課題についてグループワークを行い地域課題の整理・明確化する。

山村地域の課題（おいでん・さんそんプランより）

- ①子育て世代の移住・定住の促進
- ②移住促進のための住居の確保
- ③特色ある子育て・教育環境の確保
- ④都市と山村の交流を通じた関係人口の拡大
- ⑤地域資源やテレワーク等を生かした新たな就業機会の創出
- ⑥集落の持続可能性を高めるための地域自治の推進及び暮らしを支える仕組みづくり

【方法】：ブレインストーミング

(1) 上記の「山村地域の課題」の中からグループで話し合うものを1つ選び、意見を出し合う。現在の状況に陥っている理由（仮説ベースも可）も出し合う。

○各班の決定した検討課題

- | | | | |
|------|---|---|----------|
| ・ A班 | ②移住促進のための住居の確保について | } | を織り交ぜて検討 |
| ・ B班 | ①子育て世代の移住・定住の促進
②移住促進のための住居の確保
③特色ある子育て・教育環境の確保 | | |
| ・ C班 | ①子育て世代の移住・定住の促進
②移住促進のための住居の確保
③特色ある子育て・教育環境の確保 | | |

(2) (1) 課題に対して解決のためのアイデア出しを行う。

※ここまでを先月行い、今月は以下について行った

【6月の地域会議グループワーク等】

(1) 課題等のまとめ

- ・ 課題解決の深堀等（自分たちでできること、市に期待すること等）

(2) 発表（各グループ×5分以内予定）

- ・ 特に課題解決したいものの発表とその理由
- ・ 今後の活用方法や期待する効果など

【発表内容について】

(A班)

「特に課題解決したいもの」

- ①少子化対策
- ②高齢化対策
- ③安価住宅対策

「その理由」

- ①小学校存続危機
- ②人口減、若者減
- ③足助町なか重要伝統的建造物群保存地区で営業許可が取れない、リフォーム高価

「今後の活用方法・効果」

住宅の建設

- ・岩神多目的広場、支所所在地、越田和地などへ戸建（庭・畑付き）やマンションを建設する。

(B班)

「特に課題解決したいもの」

子育てインフラ整備（子育て世代の支援拡充）

「その理由」

子育て支援が十分でない

- ・通勤通学がしにくい、働く時間に保育時間が合わない、塾やクラブがない、授業後の居場所がない（中学生）

「今後の活用方法・効果」

小学校（10校）やこども園（5園）を統合

- ・1か所に集中させて支援を拡充する⇒子育てがかなり楽になる

(C班)

「特に課題解決したいもの」

特色ある子育て教育問題と住居問題

- ①小学校の小規模化（メリット、デメリットあり）
- ②IターンやUターン、地域に残る人を増やす（空き家、住む所）

「その理由」

- ①少子化、子育て環境の改善は急務
- ②子育て世代が住むなら（学校、住む家）

「今後の活用方法・効果」

①小規模校のメリットP R

- ・小学校10校存続にも限界（課題）

②空き家

- ・かたづけボランティア、畑つき、補助、探しやすさを充実する

③アパートもあり

- ・2～3年の一時的な住宅、田舎体験（畑つきアパート）

- ④子育てモデルのPR
 - ・小規模校で子育て&田舎生活を楽しむ
- ⑤各地にキーマンの育成
 - ・まずは先行モデル（例えば関係人口から）

【今後の流れ】

- (1) 内容の整理
 - ・事務局にて、今回のテーマ内容を整理し、今後の地域課題としてその必要性等を検討・整理
- (2) 第9次総合計画（企画課）諮問
 - ・諮問内容に合致すれば、今回のグループワーク内容をヒントにする
- (3) 必要なら新しい分科会の新設（令和6年度）
 - ・地域の課題として解決に向けた具体的な検討を実施
- (4) 新たな地域課題解決事業として事業化可能なら（令和7年度）
 - ・地域課題提案事業としての事業スタート

4 連絡事項

次回の会議等について確認

- ・第2回新規事業検討分科会
令和5年6月26日（月） 午後6時30分～ 足助支所
- ・第2回あすけ通信編集会議
令和5年6月27日（火） 午後6時～ 足助支所
- ・第2回まるふく会議（高齢者課題検討分科会）
令和5年6月30日（金） 午前10時～ 足助支所
- ・第2回防災課題検討分科会
令和5年6月30日（金） 午後6時30分～ 足助支所
- ・第4回足助地域会議
令和5年7月24日（月） 午後6時30分～ 足助支所